



公益財団法人 東京YMCA

東日本大震災 復興支援活動のご報告

東日本大震災救援募金として多くの皆様からたくさんの温かなご寄付をいただいておりますこと、心より感謝致します。東京YMCAでは被災した人々と子ども達が、当たり前の日常生活を取り戻すことを願って、これまでに以下のような支援活動を行ってきました。今後も一過性の活動で終わらず、長期的展望のもとに、被災された方々の心に寄り添う支援を継続してまいります。引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

石巻ボランティアワークキャンプ

日本基督教団浦谷教会、山城町教会、浦谷町の公民館などのご協力のもと、宮城県石巻市内にてこれまで7期に渡り、ボランティアリーダーや専門学校生が瓦礫や汚泥の撤去、家屋の洗浄、店舗再開のお手伝いなどのワークキャンプを行ってきました。被災された方々の声に耳を傾け、コミュニケーションを大切にしたワークを心がけています。



リフレッシュキャンプ・キッズスカラシップ

福島を中心に被災したご家族をご招待し、妙高高原や山中湖の自然の中でリフレッシュしてもらうためのキャンプを実施しています。放射能を気にせず外で過ごすことのできる環境に喜ぶ子ども達とご家族の声に、深刻な状況を覚えます。東京YMCA賛助会員でもある三菱商事様の全面的な協賛により、実現いたしました。また、東京YMCAのキャンプなどシーズンプログラムに被災した子ども達が参加しやすいよう、スカラシップ制度を設けています。

救援物資の提供

ランタンプロジェクトでは、1500個以上のLEDランタンを、避難所、保育園、小学校、中学校、公民館、教会などに届けました。ランタンに使う乾電池は、多くの皆さんが呼びかけに応じてご寄付下さいました。タオルケットキャンペーンでは、真夏の避難所にタオルケットを届け、大変喜ばれました。その他、現地ニーズに適った様々な支援物資を届けることができました。



子ども達とともに

震災直後、茨城YMCAとの協力で行ったつくばの避難所で子ども支援を行いました。石巻小学校での夏期プール開放のお手伝いではのべ200人以上の子ども達が笑顔を見せてくれました。石巻の教会をお借りして開催した小学生英語教室、女川町での高校生居場所づくりなど、YMCAの得意分野を生かした子ども支援を行っています。



高齢者とともに

仮設住宅で、寂しさを感じる高齢者も多い中、懐かしい唱歌などをみんなで歌う「Yわい歌の広場」の出張開催は大好評でした。今後も仮設住宅の皆さんのコミュニティづくりの支援を積極的に続けていきます。



文房具ギフト

子ども達のために文房具のご寄付を募ったところ、たくさんの方から様々な文具が寄せられました。ボランティアが集まり、子ども達への励ましのメッセージとともにパッケージ作業を行い、約500個のギフトパックが石巻に運ばれました。



様々な場で

- ★女川町の復興夏まつりで「やきそば」の模擬店を出店しました。
- ★東京YMCA夏まつりに都内に避難している福島の被災者の方をご招待しました。
- ★盛岡YMCAに協力し、「YMCA運動会」の運営を行いました。
- ★都内各所で、街頭募金が行われ、支援の呼びかけをしました。

支援拠点開設「YMCA石巻支援センター」

これまで築いてきた石巻の被災者の皆さん、教会や小学校をはじめ地元の皆さんとの関係を大切に、一層きめ細かいニーズに応えるために拠点を開設しました。事務所機能に加え、ボランティアの宿泊、物資保管場所として、この拠点を基盤に今後も支援活動を展開致します。

